

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	医療法人社団三医会
事業所名称	医療法人社団三医会デイサービス三輪
事業所所在地	東京都町田市三輪緑山4丁目14番地1
事業所電話番号	044-980-3939

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)全てのの人に平等で信頼される介護サービスを目指す。 2)介護サービスの提供を通して地域住民の安心を考える。 3)職員が一丸となって地域福祉の発展に貢献する。 4)地域に密着し、クオリティーの高いデイサービスを目指す。 5)医療法人経営のデイサービスとして、他施設で受け入れ困難な医療依存度高い利用者を受け入れる。

全体の評価講評

特に良いと思う点

・通所介護計画に沿った支援が提供できるようにしている

利用開始前に見学をしてもらい、利用目的に合っているかを確認してもらってからサービス開始へとつなげている。利用開始時には生活歴や心身状態、環境、趣味などの情報を基に通所介護計画を作成し、計画に基づいた支援が提供できるようにしている。サービス開始時のアセスメントに力を入れ情報の収集と職員間での情報共有化、統一したサービスの提供が図れるようにカンファレンスを設け、利用者の状態に即した支援の実践に取り組んでいる。定期的な見直しをはじめ、心身状況が変化した際には、サービス担当者会議において変更や見直しにつなげている。

・リハビリの要素を取り入れたレクリエーション活動を機能訓練指導員と介護職員が連携して実施し、利用者が楽しんで行えるようにしている

機能訓練指導員と介護職員で連携しながら、リハビリの要素を取り入れたレクリエーション活動を実施している。機能訓練指導員がプログラムを作成した集団体操の実施や昼食前にはカラオケの機械に入っている嚙下体操などを行っている。ボーリング、風船バレー、ゲートボール、輪投げなどでも身体を動かすレクリエーション活動を行っている。また、作業療法的な手工芸のレクリエーション活動では季節の飾りを制作したり、折り紙や書道なども行い、指先も動かすようにして、利用者が楽しみながら行えるようにしている。

・

さらなる改善が望まれる点

・利用者や関係者へ事故や災害対策などのリスクマネジメントの周知を図られたい

センター内において共同で実施している防災設備の点検や警備会社による休日などの巡回対応、事業所として実施している防災訓練などによって災害対策に取り組んでいる。また、事故やヒヤリハットが発生した際には報告・改善などの仕組みも設けている。さらに、事業継続計画も作成しており、災害発生後の取り組みについても明示している。災害や事故などの発生時の対応に関する仕組みは整っているが、シミュレーションやロールプレイ、図上訓練などを充実させ、利用車や関係者への理解を深めることに取り組まれない。

・ケア記録はPCなどでの入力と手書きでの記載を両方で行っているため、職員の効率化につながる検討が期待される

利用中の支援内容を記載したケア記録は、介護ソフトと連動しており、PCやタブレットを活用して、入力や確認を行い、職員間でのタイムリーな情報共有に努めている。ただ、介護ソフトのシステム上の問題で、ケア記録の確認が行える期間が2週間までとなっているため、手書きでの記録の記載も行っている。そのため、事業所としては職員の業務の効率化を課題として挙げている。例えば、PCやタブレットでの入力を基本とし、定期的にプリントアウトして個別ファイルにファイリングするなど、職員の効率化につながるような検討をすることが期待される。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・価値観や生活習慣に配慮して1日を過ごしてもらるようにしている

各種の活動への参加は、個々の自主性を尊重し自分で選択ができるよう支援している。その日の過ごし方を自分で決められるようなアプローチに努めている。また、自宅で行っている趣味活動や本の持参などにも対応したり、各種のプログラムへの参加も無理強いしないことを原則としている。利用者一人ひとりの価値観や生活習慣を大切にしながら1日を過ごせるようにしている。今回行った利用者調査の「尊厳の尊重」に関する設問に関しては高い満足度が得られていた。

・多様な食事形態で、利用者一人ひとりの心身状況に適した食事形態の提供を行っている

事業所の食事形態としては、主食は、軟飯気味の米飯、ミックス粥、お粥、ペースト粥、副菜は、常食、一口大、荒刻み食、極刻み食、極刻みプラストロミ食、ミキサー食、ソフト食と多様な食事形態を用意しており、アセスメントや医療情報、実際の喫食状況などを把握して、利用者一人ひとりの心身状況に適した食事形態の提供を行っている。直営厨房ということもあり、利用者の心身状況の変化などがみられた場合には、すぐに食事形態の変更も可能となっている。また、毎月での行事食などを開催し、利用者が楽しんで食事が行えるように努めている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

56/80

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	80.0%	14.0%			いいえ：3.0% 無回答・非該当：1.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	75.0%	7.0%	12.0%	5.0%	
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	53.0%	30.0%	14.0%		無回答・非該当：1.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	73.0%	17.0%	7.0%		無回答・非該当：1.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	64.0%	23.0%	7.0%	5.0%	
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	85.0%	12.0%			いいえ：0.0% 無回答・非該当：1.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	92.0%	7.0%			いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	78.0%	16.0%	5.0%		いいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	53.0%	19.0%		23.0%	いいえ：3.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	82.0%	10.0%			いいえ：3.0% 無回答・非該当：3.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	71.0%	16.0%	10.0%		いいえ：1.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	69.0%	19.0%	7.0%		無回答・非該当：3.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	75.0%	12.0%	8.0%		無回答・非該当：3.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	69.0%	17.0%	8.0%		いいえ：3.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	41.0%	25.0%	14.0%	19.0%	